

就職に有利な、ITスキルを証明する国家資格

初学者向けでわかりやすい、短期集中で合格できる

# 国家試験 ITパスポート講座



申込締切 6/30(金)

ITを活用するすべての社会人・これから社会人となる学生が備えておくべき、ITに関する基礎的な知識が証明できる国家試験です。

具体的には、新しい技術(AI、ビッグデータ、IoT など)や新しい手法(アジャイルなど)の概要に関する知識をはじめ、経営全般(経営戦略、マーケティング、財務、法務など)の知識、IT(セキュリティ、ネットワークなど)の知識、プロジェクトマネジメントの知識など幅広い分野の総合的知識を問う試験です。

グローバル化、ITの高度化はますます加速し、「英語力」と共に、「IT力」を持った人材を企業は求めています。ITパスポート試験を学習することで、高い「IT力」を身につけることができます。

## 合格率

52.7%

R3年は全国で21万1千人が受験しました。毎年受験者は増えており、社会人の受験者が多いのが特徴です。

## 試験概要

時間：120分  
問題数：100問  
形式：PCで解答する  
CBT方式  
受験料：7,500円(税込)  
開催場所：47都道府県  
(毎月開催)

## 受験手続き

講座には受験料(税込7,500円)は含まれていませんが、受験手続きの流れについて生協で丁寧にご案内します。

ここが安心!



公務員を目指す方にとってアピール抜群の国家試験です!

### 内容

動画24コマ・テキスト・確認テスト

※詳細は3ページをご覧ください

### 価格

23,000円(税込) ※本試験の受験料は含まれていません

【所轄・共催】 LEC東京リーガルマインド

【企画・運営】 東北大学生生活協同組合 キャリアサポートプラザ

# ITパスポート試験の試験概要は？

項目	内容
出題数・出題形式	小問：100問、四肢択一式 総合評価は92問、分野別評価はストラテジ系32問、マネジメント系18問、テクノロジー系42問で行います。残りの8問は今後出題する問題を評価するために使われます。
合格基準	総合評価点600点以上であり、かつ分野別評価点もそれぞれ300点以上であること 総合評価点 600点以上/1,000点（総合評価の満点）
試験方式	CBT（Computer Based Testing）方式(*1) 受験者はコンピュータに表示された試験問題に対して、マウスやキーボードを用いて解答します。
採点方式	IRT（Item Response Theory：項目応答理論）に基づいて解答結果から評価点を算出します。

(\*1) 試験はすべての都道府県で毎月実施していますので、受験者の都合に合わせて試験日時や会場を選択できます。また、試験の成績は、試験当日中にWebサイトから確認できます。受験後1年間は試験結果レポートのダウンロードができます。

## 資格取得のメリット

- 1** 入庁前に**公務における知識を身に付け、公務員になることへの準備をしてきたことを面接や官庁訪問でアピールでき**、他の受験者との差別化を図ることができます。
- 2** ITパスポートは、ITの基礎知識があることを公的に証明できるため、特に**文系学部出身の学生にとってITの基礎知識をアピールするのに効果的**です。**また、取得したITパスポートの資格は一生保証されます。**
- 3** 企業のDX化が急速に進んでおり、公務員だけではなく、金融・保険業界や不動産業界など、あらゆる職種でITパスポートの取得を推進する企業が増えています。

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
応募者数	94,298	107,172	117,923	146,971	244,254
合格者数	42,432	49,221	56,323	77,512	111,241

※過去5年間の応募者数・合格者推移をみると、近年非IT系企業の受験者が大幅に増えているのが特徴の試験です。

公務員になりたい理由や、  
やりたいことのために  
努力してきた証明として  
活用できます！！



コマ数	ジャンル	主な内容
1コマ	オリエンテーション (20分)	試験合格に向けての学習のしかた / 出題範囲 / 頻出分野 / 合格テクニック などの解説
2~10コマ	ストラテジ系 (60分/コマ)	企業活動 (経営・組織論、業務分析・データ利活用、会計・財務) 法務 (知的財産、セキュリティ関連法規、労働関連法規、取引関連法規、その他の法律・倫理、コンプライアンス、標準化関連) 経営戦略マネジメント (経営戦略手法、マーケティング、ビジネス戦略) 技術戦略マネジメント (技術開発戦略) ビジネスインダストリ (ビジネスシステム、エンジニアリングシステム eビジネス、IoTシステム・組込みシステム) システム戦略 (情報システム戦略、業務プロセス、ソリューションビジネス システム活用促進・評価)、システム企画 (システム化計画 要件定義、調達計画・実施)
11~13コマ	マネジメント系 (60分/コマ)	開発技術 (システム開発技術、開発プロセス・手法) プロジェクトマネジメント サービスマネジメント (サービスマネジメント、サービスサポート ファシリティマネジメント、システム監査、内部統制)
14~24コマ	テクノロジー系 (60分/コマ)	プログラミング (データ構造、アルゴリズム、プログラム言語) コンピュータの構成要素 (プロセッサ、記憶装置、入出力インタフェース) システム構成要素 (システムの構成、システムの評価指標) ソフトウェア (オペレーティングシステム、ファイルシステム、オフィスツール オープンソースソフトウェア)、ハードウェア (コンピュータと入出力装置) 情報デザイン (ヒューマンインターフェース、マルチメディア技術) データベース (データベース方式、データベース設計、データベース操作 トランザクション処理) ネットワーク (ネットワーク方式、通信プロトコル、ネットワークの応用)
	問題演習 (90分)	重要過去問題を用いた演習講義
	確認テスト	知識習得度確認用のWEBテスト

- ※教材は、7月7日（金）以降にキャリアサポートプラザで受け取りとなります。  
 ※講義スライド・確認テスト等は、Web上でご覧いただけますので発送はされません。  
 ※実施スケジュールは、事前の予告なく変更する場合があります。

## 担当講師：小船 幹生 講師



### <講師紹介>

京都大学在籍時代から予備校で理数科目を指導。  
 修士号を取得後、学校内予備校・医学部専門予備校で大学受験指導を担当。  
 現在は高等学校で情報科目の非常勤講師を務めつつ、大学内でのIT系資格試験  
 対策講座も担当。  
 進学系大学予備校や資格試験対策業界で、幅広く教育業に携わる。

# 合格までの学習時間の目安・学習方法

ITパスポート試験に必要な勉強時間は平均して150時間ほどと言われます。**1日1.5時間ほどの学習を3カ月ほど続けた場合の時間に相当します。**

ただし、IT知識の有無によっても必要な勉強時間が変わってくるため、注意が必要です。IT知識のない人の場合は180時間、基礎知識がある場合は100時間が目安です。

<最短合格のための重要ポイント！>

## 1) 問題を暗記するのではなく、理解する

何割かは過去問から出題されるため、丸暗記でも合格する可能性はあります。ただし暗記では新しい問題に対応できず、もちろん実務でも活用できません。用語の意味を正確に理解し、論理的に正解を導けるように学習しましょう。時間をかけてでも根本的な理解をすることが、最終的には合格への近道となります。

## 2) インプットだけではなく過去問を解く

過去問を解くことで、理解できている箇所・できていない箇所が浮き彫りになります。重点的に対策すべきは、できていない箇所です。正解率が低くても落ち込まず「勉強すべき部分が明確になった」と前向きに捉えて取り組みましょう。

## ITパスポート講座申込書（ご本人控え）

太枠内の部分をご記入ください。

氏名		受講料	組合員価格 23,000円（税込）
----	--	-----	----------------------

※申込上の諸注意※

- (1) ITパスポート試験合格講座は、川内南キャンパスのキャリアサポートプラザ店のみお申込み受け付け可能です。
- (2) 申込締切後は、いかなる理由がある場合でも受講料の返還はいたしません。
- (3) この講座にITパスポートの受験料（7,500円）は含まれていません。試験のお申込みは各自となります。
- (4) この用紙は、お申込みの証明になるものです。講座終了まで大切に保管しておいてください。
- (5) 動画視聴は1年間の利用が可能です。

領収印

(切り取らずにキャリアサポートプラザまでお持ちください。)

## ITパスポート講座申込書（生協控え）

申込締切：6月30日（金）  
太枠内の部分をご記入ください。

氏名	ふりがな	メールアドレス		
		組合員番号		
携帯	( )	申込番号	受講料 (税込)	組合員価格 23,000円
申込	講義動画24コマ+テキスト			